



一般社団法人 巨樹の会

宇都宮リハビリテーション病院

みやり、通信

2026 Spring
Vol. 58

Contents

- 新任医師紹介 事務長挨拶
- 入職式
- 新入職者あいさつ
- 回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会
- 第1回栃木県リハビリテーション学術大会
- 令和7年度第3回ケアマネジャー懇親会
- 医療安全研修「せん妄の基礎知識について」
- 行事食



新任医師紹介



医局 今井 明

4月1日から、常勤医になりました今井 明です。1976年に慶應義塾大学医学部を卒業して、同年内科学教室(神経内科)に入局し、1985年まで慶應義塾大学病院に勤務しました。その後、3年間米国テキサス州のベイラー医科大学に留学しました。1988年に日本に戻り栃木県に赴任し、済生会宇都宮病院神経内科の責任者として勤務を開始いたしました。済生会病院では主に急性期脳卒中の救命を中心とする診療を行っていました。

脳卒中の問題点は、死亡率の高さだけではなく、救命できても後遺症を残して、生活に多大な支障を与えてしまう事です。

それに対して、2000年から回復期リハビリテーション病棟が開設できるようになりました。当院も宇都宮市内に、回復期リハビリテーションの専門病院として、2011年に開設されました。

私も2015年から当院に非常勤医として勤務をさせていただき、リハビリテーションの効果を実感して参りました。今後は、適切な回復期リハビリテーション医療と近年増加する認知症を合併する患者様への対応を中心に、努力するつもりです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

新事務長のご挨拶



事務長代行 大宮司 清文

この度、事務長代行に着任いたしました大宮司と申します。

時代の変化に柔軟に対応しつつ、当院が築いてきた信頼を大切に守り、さらなる発展を目指します。スタッフと共に活気ある病院運営に努め、皆様が安心してリハビリに専念できる環境づくりに、誠心誠意取り組んでまいります。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。



入 職 式



令和8年4月1日(水)、令和8年度入職式を執り行いました。

本年度は、医局1名、看護部3名、リハビリテーション科7名、栄養科1名の計12名の新入職員を迎え、新たな仲間とともに新年度のスタートを切りました。

式では、院長より新入職員へ温かい激励の言葉が贈られ、新入職員は一人ひとりが真剣な表情で耳を傾け、それぞれがこれからの業務に向けて決意を新たにしている様子がうかがえました。また、新入職員代表による挨拶では、これから社会人として歩んでいくことへの期待や責任、そして前向きな思いが率直に語られ、会場に清々しい空気が広がりました。

新たに加わった仲間とともに、今後もより良い医療の提供に努めてまいります。引き続き、宇都宮リハビリテーション病院をよろしくお願いいたします。





新入職者からのご挨拶



リハビリテーション科 理学療法士 川上

これまで学んだことを活かし
ながら、さらに知識・技術を高め、患者様により
良いリハビリを提供できるように努力してまい
ります。まだまだ未熟な部分が多くあると思
いますが精一杯頑張ります。
よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 作業療法士 佐藤

患者様に安心してリハビリに取り組ん
でいただけるよう、丁寧な関わりを大切に
していきたいと思います。日々努力しながら
精進してまいりますので、どうぞよろしく
お願いいたします。



患者様と向き合い、同じ目標を
持って真摯にリハビリに取り組めるような
言語聴覚士になりたいと思います。未熟な部分
が多くあると思いますが、一日でも早くお力に
なれるよう努力していきます。
よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 言語聴覚士 佐藤

患者様一人ひとりの生活背景や
価値観を尊重し、日常生活動作の向上だけ
なく、患者様が「その人らしく生活できること」を
目標に、多職種と連携しながら質の高い
看護を提供していきたいです。

看護部 看護師 加藤

一刻も早く戦力になれるよう
努めてまいります。また、他職種の皆さん
とのチームワークを大切にして患者様に
貢献できるよう行動していきたいです。
どうぞよろしくお願いいたします。

栄養科 飯塚

日々業務に携わる中で、多くの
知識と技術を身に付け、患者様一人一人に寄り
添う看護補助者になりたいと思います。向上心
を忘れず1日1日成長できるよう努めてまい
ります。よろしくお願いいたします。

看護部 看護補助者 山口

第1回栃木県リハビリテーション学術大会

令和8年1月25日 第1回栃木県リハビリテーション学術大会が開催され、当院からは「運動学習が困難であった脳卒中患者に対し、課題共有の促進が歩行改善に奏功した一症例」、「重度脳卒中患者に対して覚醒向上を起点とした介入を通じて寝たきりから離脱した症例」の2演題発表を行いました。

発表では多くのご意見をいただき、大変勉強になりました。今後の臨床にしっかり活かしていきたいと思えます。



回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会

令和8年2月6日～2月7日に回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会in米子が開催され、当院からは「廃用症候群患者における運動機能改善に影響する因子の検討」、「心不全と間質性肺炎を呈した患者に対してCPX未実施下で分割した有酸素運動を実施し耐久性改善と歩行獲得が図れた1症例」の2演題発表を行いました。今後もリハビリを提供する上で生じる疑問や成果を学術活動へとつなげていけるよう努めていきます。



令和7年度第3回ケアマネジャー懇親会

2月12日(木)、令和7年度第3回ケアマネジャー懇親会を開催いたしました。当院の機能や取り組みについてご説明し、ケアマネジャーの皆様と情報共有や意見交換を行いました。参加された皆様から、日頃から支援をする中でのご相談等もいただき活発な意見交換の場となりました。

今後も地域のケアマネジャーの方々と密な連携を図りながら、入院中から退院後まで患者様・ご家族様が安心して生活できるよう支援をしていきたいと思っております。



医療安全研修「せん妄の基礎知識について」

1月26日(月)、新久喜総合病院より特定行為研修修了者看護師を講師としてお招きし、「せん妄の基礎知識」について講義していただきました。せん妄について正しく理解し、チーム全体で関わっていくことの重要性を改めて学ぶ機会となりました。

今後も、患者様の安全と安心を守るため、継続的な研修を通じて医療安全の向上に努めてまいります。



行事食



メニュー

- 五目ちらし寿司
- 清まし汁
- 鶏団子の煮物
- 抹茶ババロア

栄養科からのコメント

3月2日昼食に『ひなまつり御膳』を提供しました。

ひなまつりに合わせて、春の訪れを感じて頂ける行事食の提供を心がけました。五目ちらし寿司は海老・桜でんぶ・卵・絹さやなど、春らしい色の食材を組み合わせ、彩りよく丁寧に盛り付けました。また、酢飯は桜でんぶとの甘味のバランスを調整し、やさしい甘さに仕上げました。

鶏団子の煮物は菜の花や花形人参を使用し春らしく、抹茶ババロアは生クリームと苺をトッピングし、ひなまつりの可愛らしさや特別感を出すことができました。

今後も皆さんに楽しみにして頂ける行事食を提供していきたいと思ひます。



患者様からの声

- ・五目ちらし寿司は優しい甘さで美味しい。
- ・海老が大きくて食べ応えがあってよかった。
- ・抹茶ババロアが美味しかった。



むすび♡プロジェクト



「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者さんが、その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

第5回 むすびプロジェクト研修会


ケアマネジャーの視点とケアプラン作成のプロセスを学ぶ

令和7年8月4日、東京品川病院にて第5回むすびプロジェクト研修会を開催しました。現地会場とZOOM合わせて関東カマチグループ職員725名が参加し「ケアマネジャーの視点とケアプラン作成のプロセスを学ぶ」をテーマに、ご講演いただきました。講義では「ケアマネジャーは患者さん本人よりも家族と関わる時間が長く、どうしても家族の介護負担を優先的に考えてしまう。このため病院スタッフの目線で患者さんの声を聞き、私たちに届けてほしい」という具体的なアドバイスも頂きました。また「患者さんの10年後20年後、どう最期を迎えるのかまで考え、長期的な視点で支援内容を検討している」といったお話もあり、退院後に長く続いていく生活期を見据えた退院支援の大切さを感じました。今回の研修を活かし、ケアマネジャーと我々病院スタッフにて情報共有を積極的に行い、質の高い退院支援に努めていきたいと思っております。



▲あおぞらの里 病棟ケアプランセンター 主任ケアマネジャー 小柳淳治氏






宇都宮リハビリテーション病院 交通のご案内

電車でのご来院	バスでのご来院
● JR宇都宮駅から車で約15分	● 関東バス
● JR岡本駅から車で約5分	JR宇都宮駅東口 岡本駅西口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分)
	JR岡本駅西口 宇都宮駅東口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分)

病院見学
対応して
おります。


月曜日～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00
Tel 028-689-6878 (連携室直通)
※ご希望の際は事前にご連絡くださいますようお願いいたします。



宇都宮リハビリテーション病院 広報誌

みやりハ通信

企画発行



宇都宮リハビリテーション病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒321-0982 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43-2
TEL:028-662-6789(代表) FAX:028-660-1041
(広報委員会)